

R3-04

警察等との連携による地域に根ざした防犯活動の取組

- 管内 留萌管内
- 分類 通学路の点検 防犯教室・防犯訓練 安全マップ
スクールガード・リーダー等の活用 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ）科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 1 地元警察署との連携による地域の子どもたちへの安全教室の実施
- 2 地元警察署等との連携による特殊詐欺被害防止に向けた取組

■ 取組の実際

ねらい

- 防犯に関する理解を深め、自他の安全への意識を高めるとともに、奉仕の精神をもって地域に貢献する態度を養う。

内容

1 防犯紙芝居の作成・上演

地元警察署からの依頼を受け、美術部員が防犯標語「いかのおすし」をテーマにした紙芝居を作成した。

紙芝居は、警察署員が町内の幼稚園で上演するとともに、作成した美術部員自らも警察署員とともに認定保育園を訪れ、園児たちに対し、不審者に声をかけられた時は、「行かない」「（車に）乗らない」「大声を出す」「すぐ逃げる」「知らせる」の「いかのおすし」が大切であることをアピールした。



【防犯紙芝居の上演の様子】

2 特殊詐欺被害防止に向けた絵手紙の作成

地元警察署及び青少年連絡協議会から講師を招き、非行防止教室を開催した。

生徒は特殊詐欺の手口や防止策について理解を深めた後、祖父母に向け特殊詐欺被害防止を呼びかける絵手紙「絆レター」づくりに取り組んだ。

「絆レター」には、各々が現金自動預払機（ATM）のイラストや「怪しい電話にだまされないで」などのメッセージを書き添え、代表生徒が郵便局に持ち込み郵送した。



【「絆レター」作成の様子】

成果と課題

- 防犯紙芝居による安全教室を通じて、地域の子どもたちの防犯意識を高めることができた。
- 「絆レター」を通じて特殊詐欺被害防止を啓発するとともに、家族の絆を深めることができた。
- 全校生徒の防犯意識の一層の醸成のため、取組の成果を全校生徒へ普及・啓発するとともに、これからも生徒が主体的に活動する場面を設定する必要がある。